

ナルニア国物語

魔術師のおい

23

C・S・ルイス

土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

第23話 ストロベリーの大冒険(前編)



それでは
次は
この少年だ





わたしの大切な国
ナルニアに対して

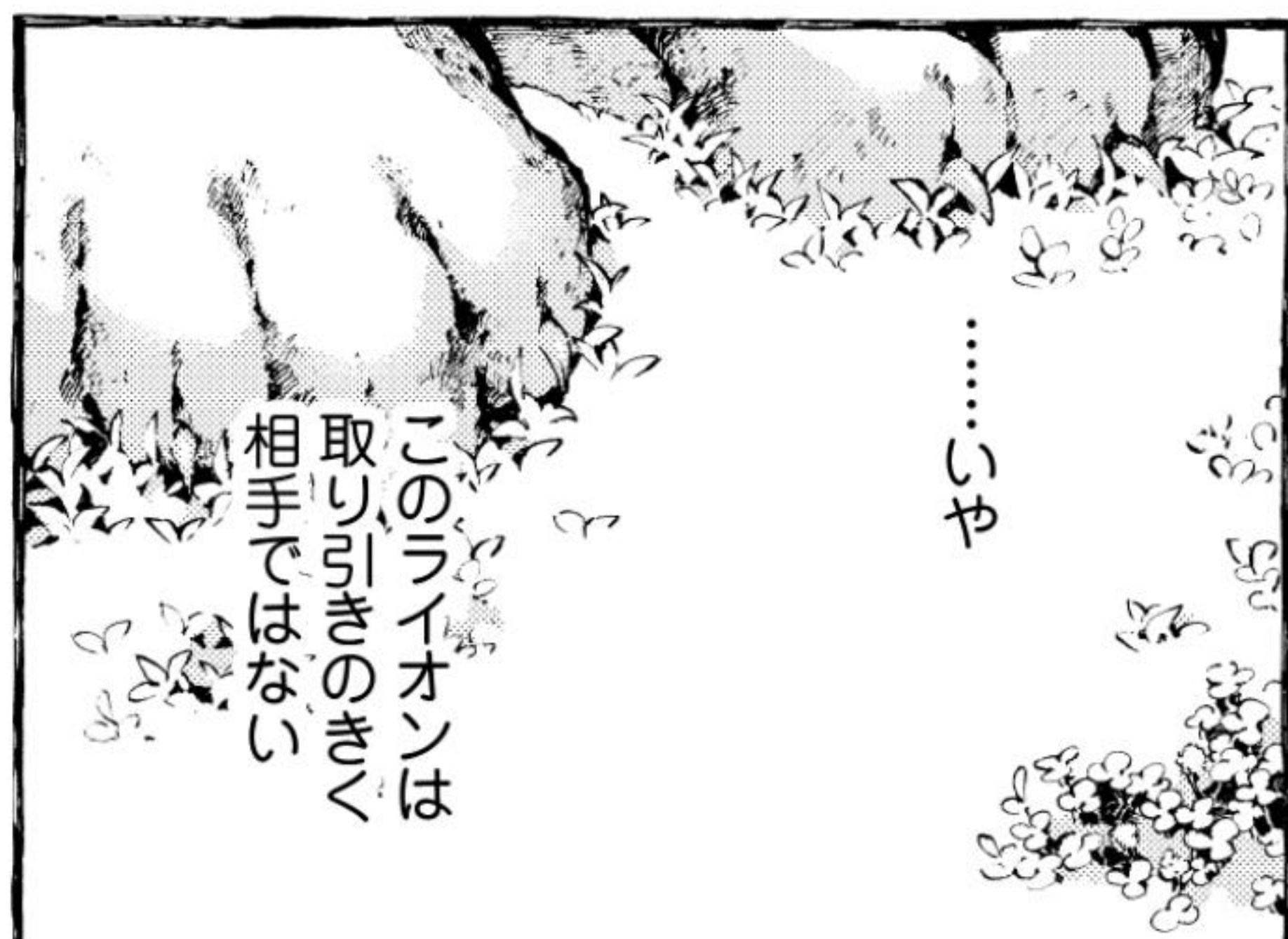
よりもよって
その誕生初日に

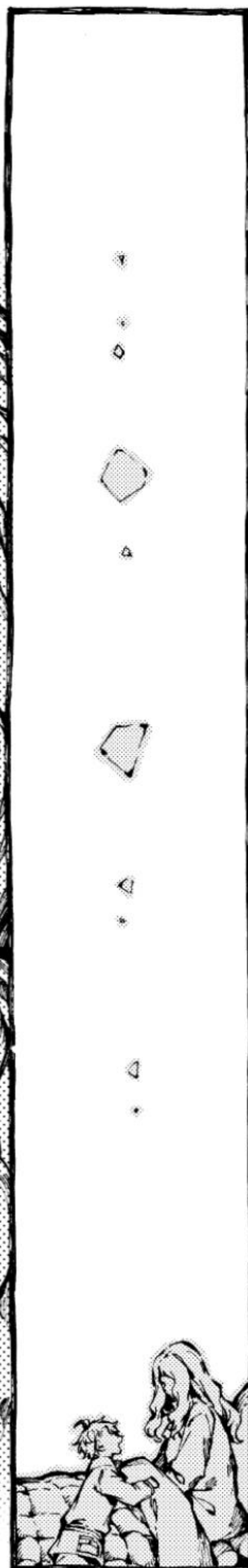
あなたは
害をなした



それをつぐなう
覚悟はあるか？









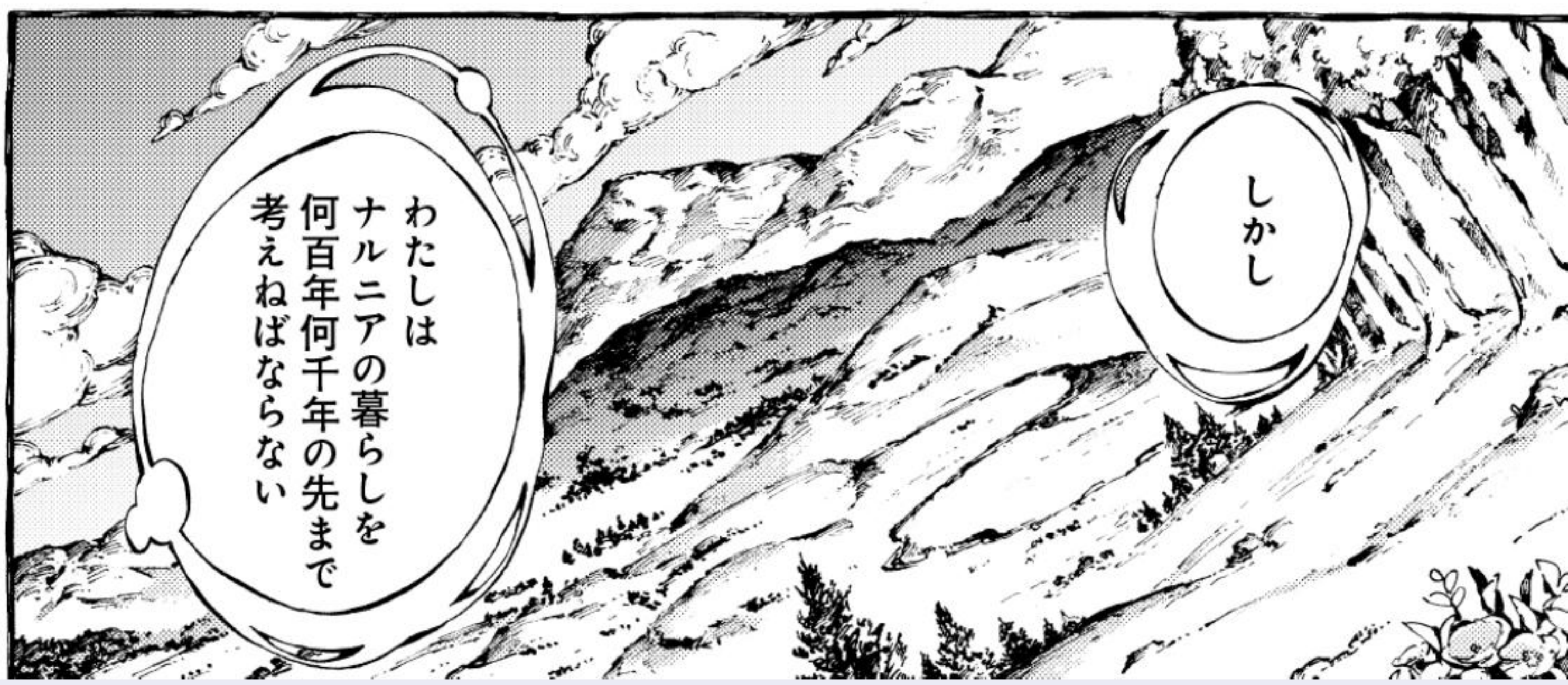
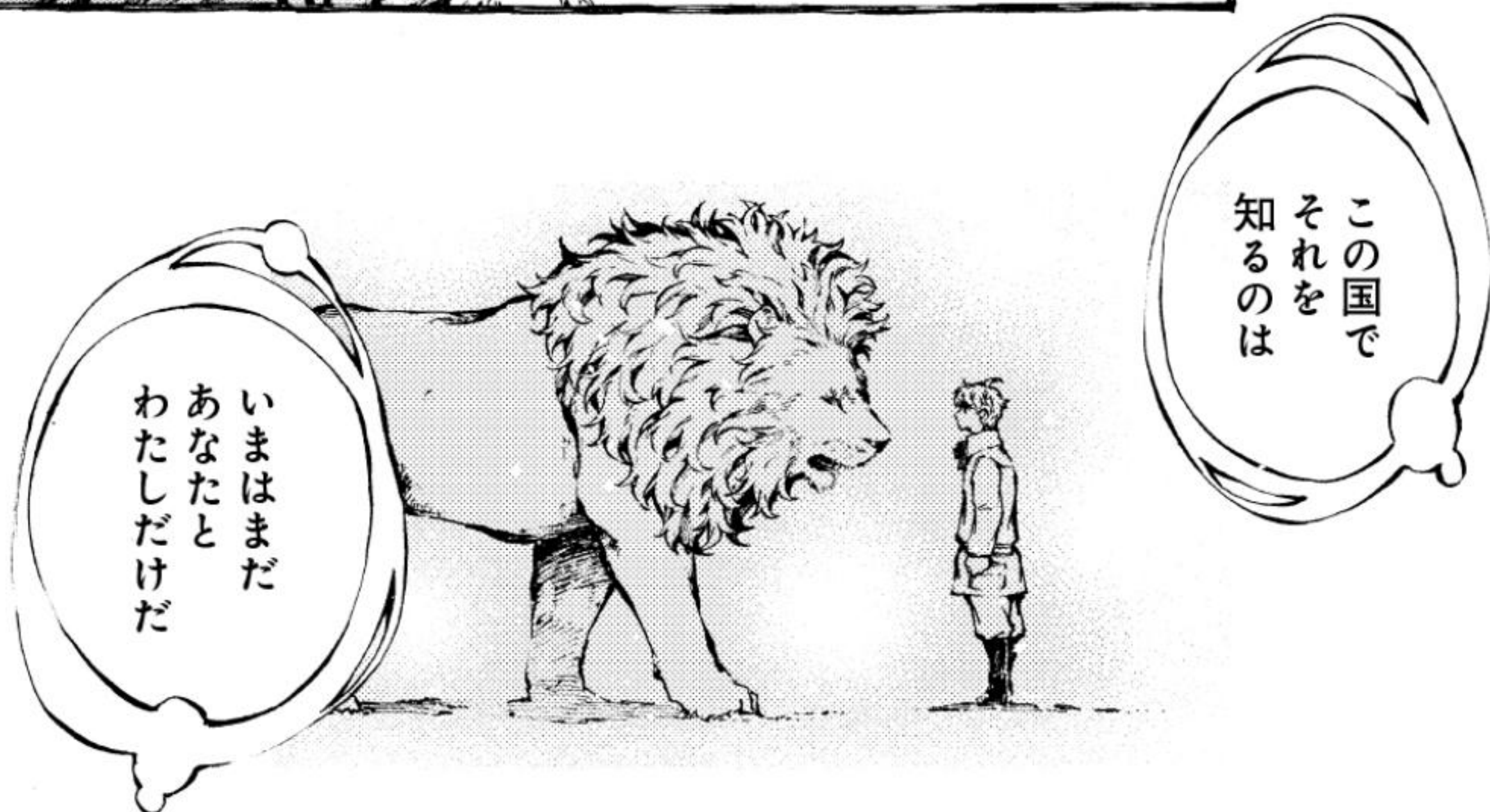


息子よ



わが息子よ







あなたが
この世界へ
連れこんだ魔女は

ふたたびナルニアへ
もどってくるだろう

だが

それはまだ
先のことだ

わたしは
このナルニアに
魔女を近づけぬ
力を持つ木を
植えたいと思う



その木は
長き歳月にわたって
ナルニアを魔女から
守ることになろう

そして
この国は

いつか太陽が雲に
おおわれる日まで
長いあいだ

輝かしい朝を
迎えることとなろう

あなたは

その木が育つ種を
手に入れてこなくては
ならない







この川の上流が
滝になって
崖を流れ落ちて
くるのが見えます



そして

崖のむこうには
高い丘が連なっていて
緑の森がしげっています

その
むこうには

もっと高い山脈があつて
ほとんど黒く見えます



それから

もっとずっと
遠くには

大きな雪山が
いっぱい連なつて
見えます

——アルプスの
写真みたい



その先は

空しか
見えません

よい目を
している

よいかな

ナルニアの国土は
滝が流れ落ちる
ところまでだ

崖の頂上から先は
もはやナルニアの
国ではなく
〈西の荒野〉に
はいる

Prin
western wild

あなたは
山々を越えていき

氷山に囲まれた
緑の溪谷にある
青い湖を
見つけなくては
ならない

湖のいちばん奥に
けわしい
緑の丘がある

その丘の頂に
果樹園がある



わかりました



アスラン

お急ぎでないとい
いのですが



短い時間で
そこまで行って
帰ってくることは

できないだろうと
思います



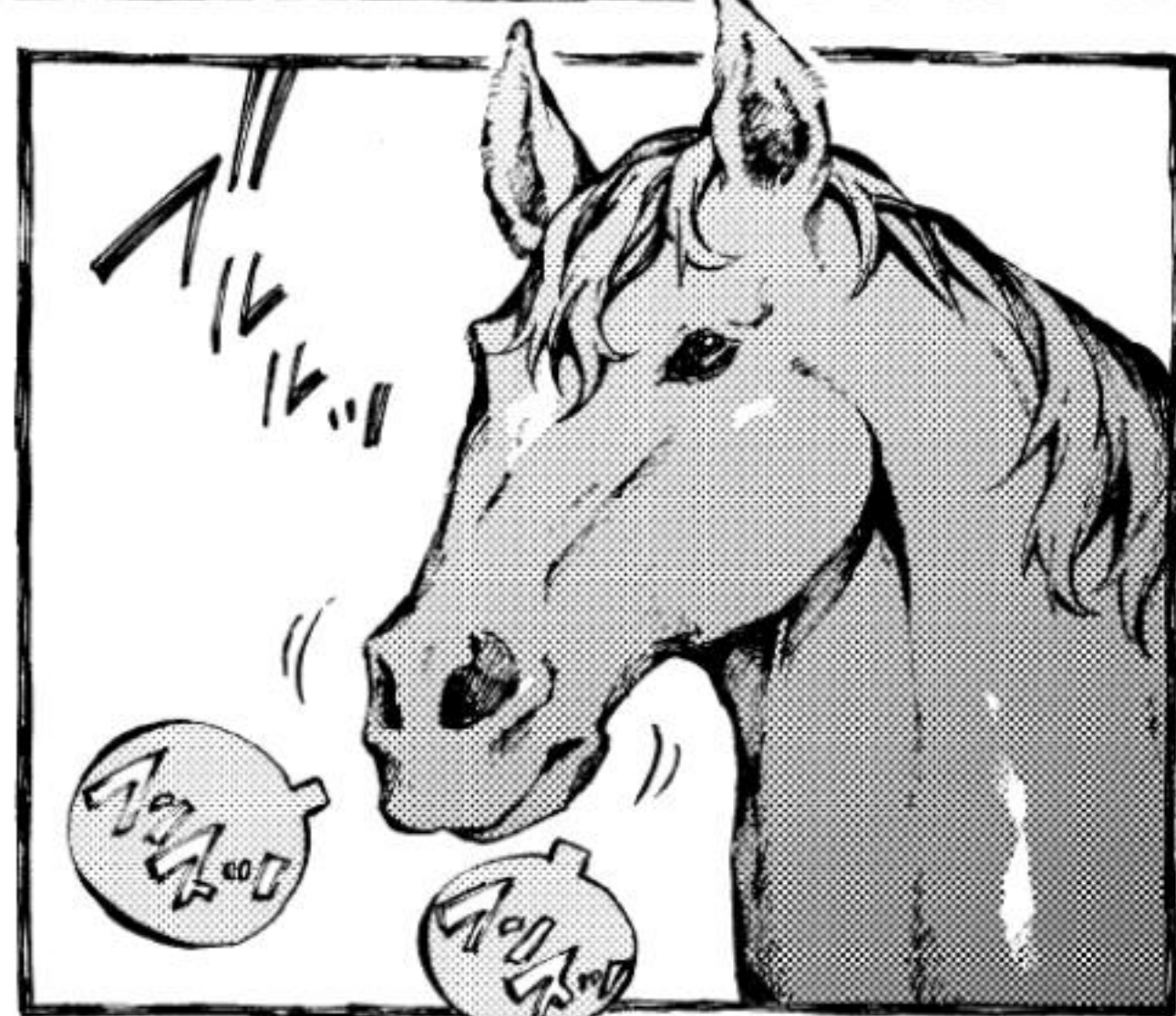
その果樹園の
中央に
一本の木がある

その木から
リンゴを一個もぎ取り
持ち帰ってくるのだ



助けを
与えよう

アダムの
小さな息子よ



翼の生えた馬に
なりたいか?



アスランの
お望みとあらば

思し召し
ならば



どうして
おれなのか

わかりませんけど

—おれ

そんなに
賢い馬じゃないので

すべての天馬の
父となれ

翼を持て

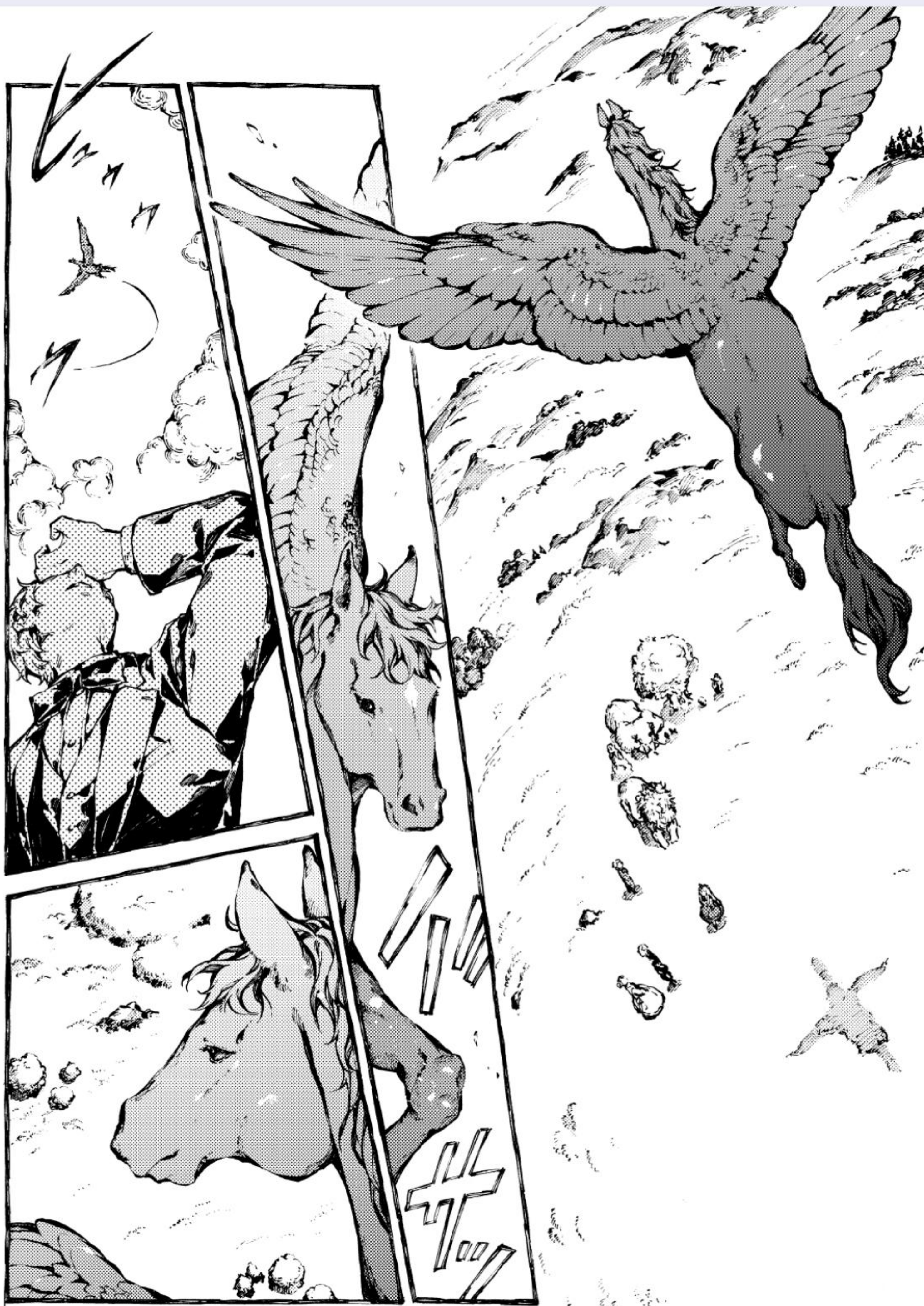


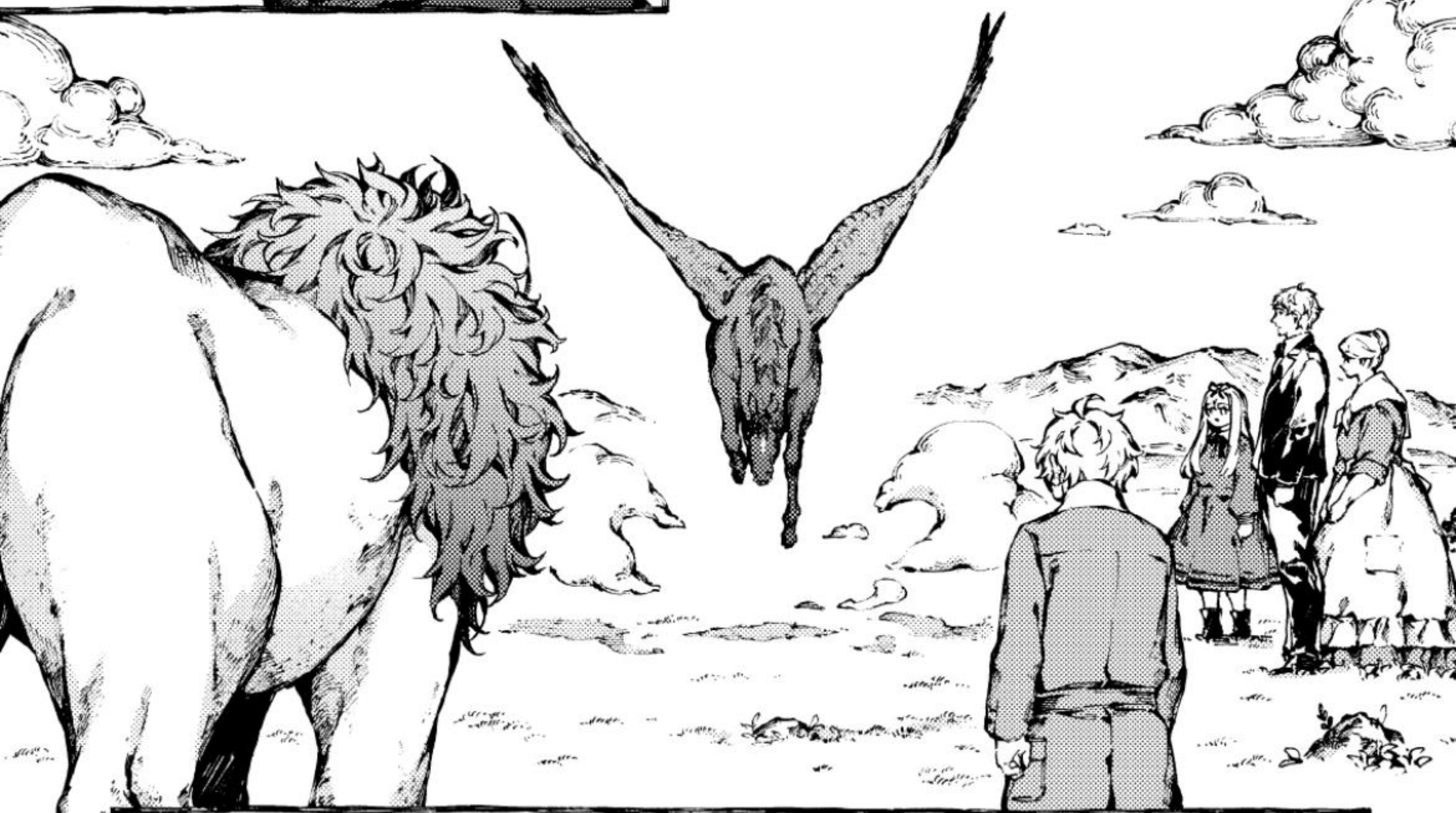


おまえの名を

フレッジとする

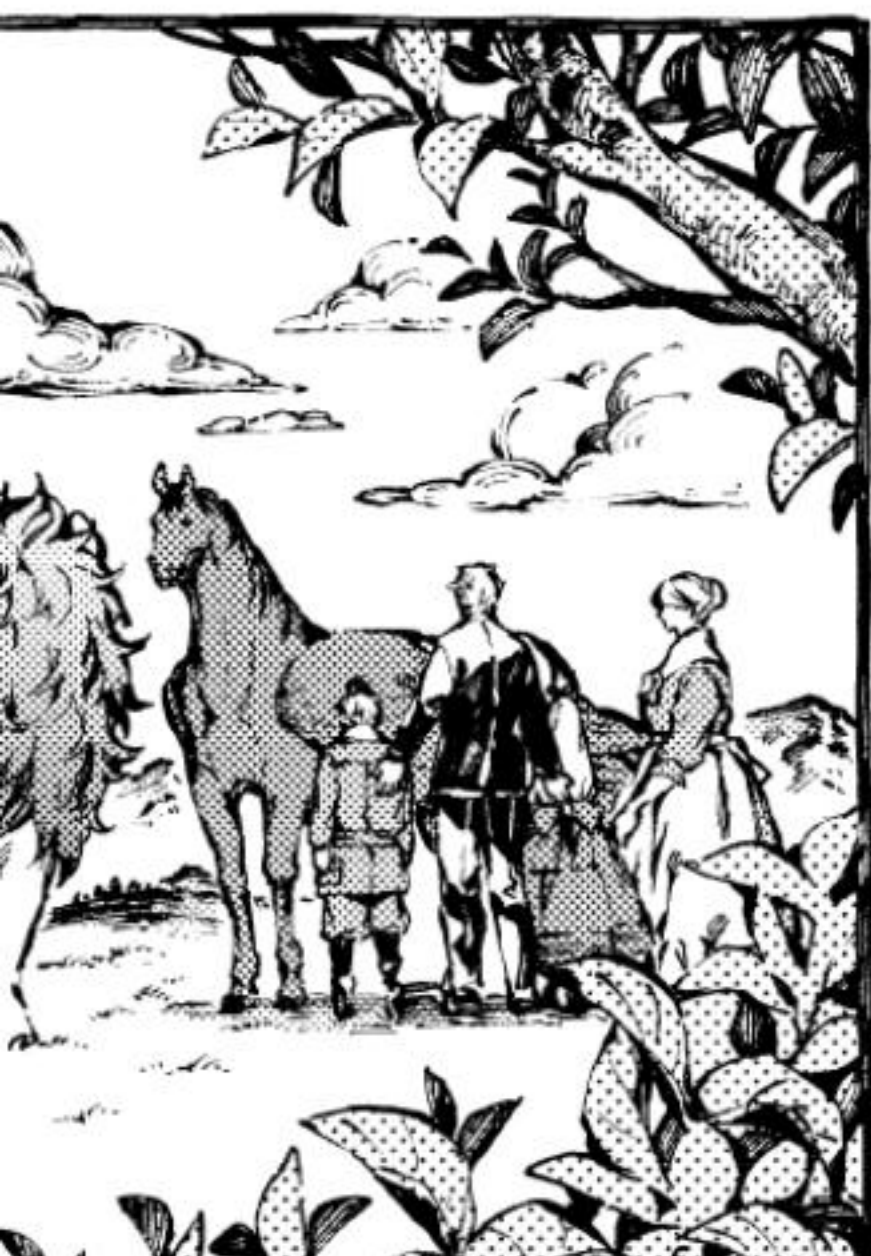


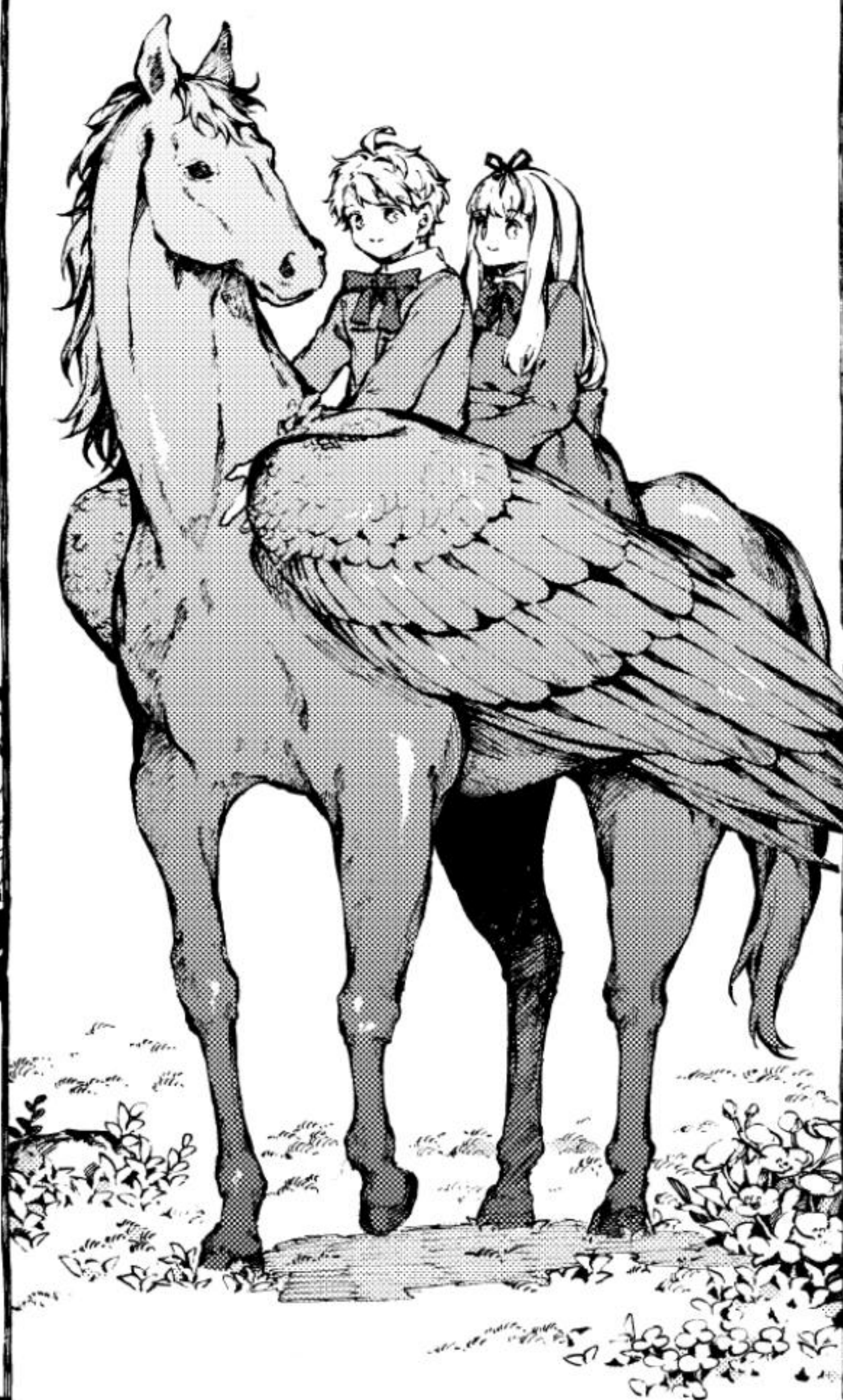












氷の大山脈を
越えて行こうと
してはならない

緑の谷間を
探して

そこをたどって
飛んでいくように

かならず
そういう道が
ある

では行け









つづく